

# 八幡平市立病院



## 【病院概要】

病床数：60床（一般病床24床、地域包括ケア病床36床）

診療科：内科、外科、小児科

常勤医師数：6名（内科3名、外科2名、小児科1名）

職員数：122名（正職員57名、臨時・委託職員65名）

専門外来：

糖尿病外来（週1回） 医大糖尿病代謝内科

耳鼻科外来（週1回） 医大耳鼻咽喉科

循環器内科（週1回） 県立中央病院

神経内科、血液内科（月1回）、脳神経外科（月2回） 県立中央病院

## 【病院紹介】

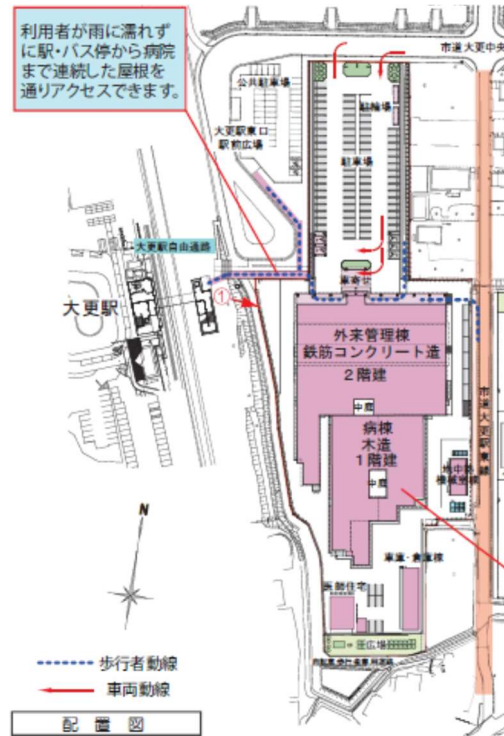
八幡平市は2024年10月現在人口約23,000人、高齢化率41%、将来人口推計では今後も老年化人口が減少すると予想されています。人口当たりの医師数は、県平均のおおよそ1/3と医療資源の少ない地域です。しかしながら、高速道路を利用すれば盛岡まで30分程度と比較的交通の便が良く国保レセプト件数から見ると半数以上が盛岡市の医療施設を利用しており医療圏、生活圏ともに盛岡に属していると言えます。

当院は市内唯一の公的有床病院として、地域住民、介護施設等のサブアキュートおよび急性期病院のポストアキュートを担っています。

また、地域の医療ニーズに対応するために専門外来の充実と在宅療養者の支援体制の強化により地域完結型医療を目指しています。

2018年度から地域包括ケア病床の運用、人工透析治療を開始しました。特別養護老人ホーム

をはじめとする施設への訪問診療の充実、介護老人ホーム等との連携を密にし、後方支援病院として岩手町を含めたこの地域における地域包括ケアシステムの中心的役割を担って行きたいと思っています。



当院は2020年8月1日、JR大更駅東口に新築移転し、名称も新たに「八幡平市立病院」としました。外来患者および入院患者の病院機能はすべて1階に配置、病棟は木造建築の良さを生かした温かみのある開放的な空間とし、緩和医療の充実、感染症対策などのため個室を12床としました。人工透析室12床、1.5テスラMRI、64列マルチスライスCTを導入、手術室は将来心臓カテーテル検査可能なハイブリットユニットとし将来赴任を希望する若手医師が十分に活躍できる設備を整えております。盛岡からの通勤も可能、中小病院での義務履行を控える奨学金養成医師をはじめとする若い先生方の赴任を心からお待ちいたしております。

（文責 瀧山）